

2022年3月期連結決算に関する 補足説明資料

証券コード：6745

2022年5月10日

※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。



2022年3月期 連結決算概要 (サマリ)

(百万円)	21/3月期 実績	22/3月期 予想(21/10/29)	22/3月期 実績	対前期比	対予想比
売上高	76,567	79,700	81,251	4,683 ※1(3,593)	1,551 ※1(1,296)
営業利益	5,180	5,300	5,479	299 △ 0.0	179 0.1
営業利益率	6.8%	6.6%	6.7%		
経常利益	5,273	5,300	5,626	352 0.0	326 0.3
経常利益率	6.9%	6.6%	6.9%		
親会社株主に帰属する当期純利益	3,825	3,900	4,124	299 0.1	224 0.2
親会社株主に帰属する当期純利益率	5.0%	4.9%	5.1%		
為替レート (円/USD)	106.10	108.67	112.39	※2 6.29	※2 3.72
為替レート (円/GBP)	138.74	151.21	153.52	※2 14.78	※2 2.31
為替レート (円/GBP) ケンテック	137.01	149.41	151.17	※2 14.16	※2 1.76

※1 カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

※2 為替レートの対前期比、対予想比のマイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しています。

決算のポイント

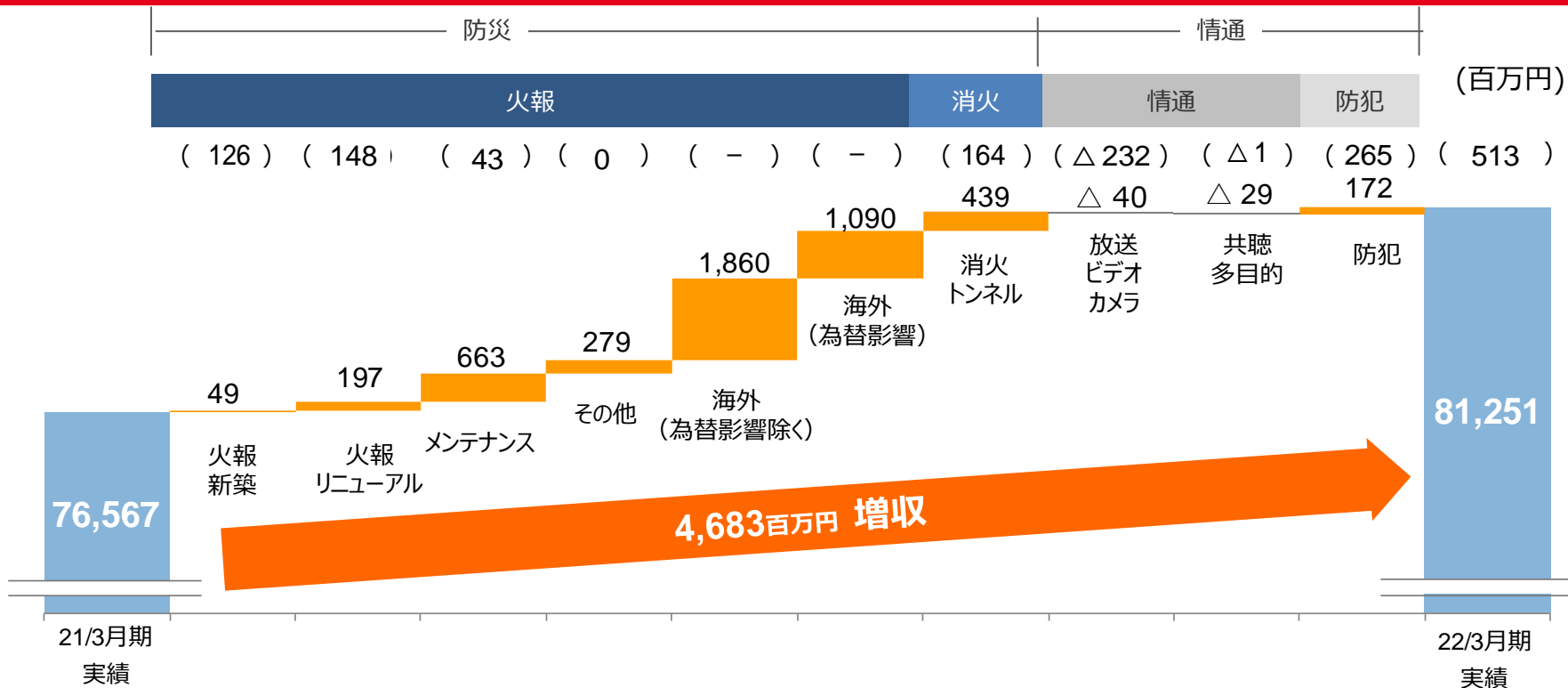
売上高

- 対前期比、対予想比（21/10/29発表）共に増収となり、過去最高を更新した。
- 対前期比では、国内事業におけるリニューアル事業・メンテナンス事業が好調に推移したこと、海外事業における前期の新型コロナウイルス感染症による減収・減益に対する反動増やシステム販売拡大施策の進展によるもの。為替影響額は10.9億円。
- 対予想比では、主に海外事業における増収と、国内事業における火報リニューアルの大型案件の進捗（収益認識会計基準影響）によるもの。

営業利益

- 売上高の増加に伴い、対前期比、対予想比（21/10/29発表）共に増益となり、利益においても過去最高を更新した。

2022年3月期 連結売上高 増減分析

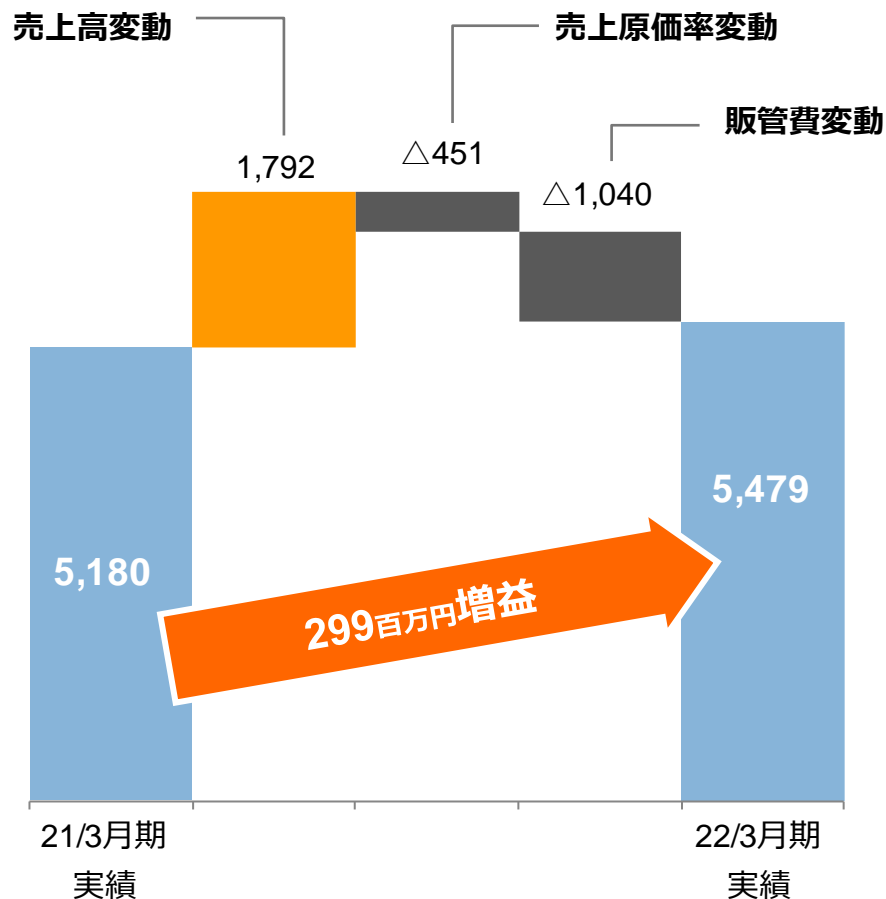


※ カッコ内の数値は収益認識会計基準適用影響による増収概算額を示しております。

ポイント

- 海外は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年から回復したことや、システム販売拡大施策の進展により増収。地域別では、強い事業基盤を持つ英国が好調。
- メンテナンスは、定期点検・整備工事共に順調に伸長。特に消火整備工事の増収幅が大きい。
- 収益認識会計基準適用により工事進行基準適用範囲が拡大したことによる売上高の増収影響は概算額で5.1億円。

(百万円)



売上高変動

- 火報リニューアル、メンテナンス、海外事業の順調な伸長によるもの。
- 為替や収益を認識する範囲の拡大も影響。

売上原価率変動

- 採算性のよいストックビジネス・機器売の増収により改善したものの、製品補償引当金の計上によるもの。

販管費変動

- 主に海外の需要回復に伴う人件費増加や売上増加に伴う活動費の増加によるもの。

主要セグメント利益増減額

火報	+6.5億円
消火	△0.3億円
情報通信	+1.7億円
防犯	△0.5億円

※火報のうち、海外分は+6.7億円
 ※全社共通費影響△4.3億円
 ※収益認識会計基準適用影響+3.2億円

2022年3月期 連結地域別売上高

(百万円)	22/3月期 実績		対前期比		対予想比 (21/10/29)	
	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	81,251	100.0%	4,683	6.1%	1,551	1.9%
国内	67,761	83.4%	1,732	2.6%	436	0.6%
海外	13,489	16.6%	2,951	28.0%	1,115	9.0%
			(1,860)	(17.7%)	(860)	(7.0%)
北米/中南米	1,729	12.8%	165	10.5%	113	7.1%
			(68)	(4.4%)	(56)	(3.5%)
アジア・パシフィック	2,784	20.6%	542	24.2%	431	18.3%
			(405)	(18.1%)	(360)	(15.3%)
欧州/中東/インド	6,545	48.6%	1,669	34.2%	496	8.2%
			(1,039)	(21.3%)	(397)	(6.6%)
ケンテック	2,429	18.0%	574	31.0%	73	3.1%
			(347)	(18.7%)	(45)	(1.9%)

※ カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

為替レート	21/3月期実績	22/3月期予想	22/3月期実績
USD	106.10	108.67	112.39
GBP	138.74	151.21	153.52
GBP (ケンテック)	137.01	149.41	151.17

2022年3月期 連結受注高及び受注残高の概要

(百万円)	21/3月期		22/3月期		対前期比		※対前期比 収益認識会計基準影響考慮	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	77,726	100.0%	81,267	100.0%	3,541	4.6%	-	-
防災事業	64,573	83.1%	67,768	83.4%	3,195	4.9%	-	-
火災報知設備	54,660	70.3%	58,534	72.0%	3,873	7.1%	-	-
消火設備	9,912	12.8%	9,234	11.4%	△ 678	-6.8%	-	-
情報通信事業等	13,153	16.9%	13,499	16.6%	345	2.6%	-	-
情報通信設備	8,645	11.1%	8,738	10.7%	92	1.1%	-	-
防犯設備等	4,507	5.8%	4,760	5.9%	252	5.6%	-	-
(うち海外)	10,537	13.6%	13,489	16.6%	2,951	28.0%	-	-
受注残高	25,260	100.0%	22,754	100.0%	△ 2,505	-9.9%	16	0.1%
防災事業	20,696	81.9%	18,555	81.5%	△ 2,140	-10.3%	△ 486	-2.6%
火災報知設備	12,283	48.6%	11,008	48.4%	△ 1,275	-10.4%	83	0.8%
消火設備	8,413	33.3%	7,547	33.1%	△ 865	-10.3%	△ 569	-7.0%
情報通信事業等	4,563	18.1%	4,199	18.5%	△ 364	-8.0%	502	13.6%
情報通信設備	3,257	12.9%	2,913	12.8%	△ 344	-10.6%	362	14.2%
防犯設備等	1,306	5.2%	1,285	5.7%	△ 20	-1.6%	140	12.3%
(うち海外)	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 収益認識会計基準を適用したと仮定した場合の21/3月期実績概算値と22/3月期実績との差額を表示しております。

ポイント

受注高

- 火災報知設備は海外とメンテナンスにおいて対前期比で増加。一方消火設備はトンネル非常用設備が減少した。
- 情報通信事業等については、放送設備及び防犯設備が好調。

受注残高

- 前期比では、収益認識会計基準の適用により減少。前期比に同基準を適用したと仮定すると、前年並みの受注残が確保できている。

2023年3月期 連結業績予想概要

2023年3月期 連結業績予想概要（サマリ）

(百万円)	22/3月期 実績	23/3月期 予想 (22/5/10)	対前期比
売上高	81,251	83,000	1,748 ※1 (1,061)
営業利益	5,479	5,900	420
営業利益率	6.7%	7.1%	0.4
経常利益	5,626	5,900	273
経常利益率	6.9%	7.1%	0.2
親会社株主に帰属する当期純利益	4,124	4,300	175
親会社株主に帰属する当期純利益率	5.1%	5.2%	0.1
為替レート (円/USD)	112.39	120.00	※2 7.61
為替レート (円/GBP)	153.52	160.00	※2 6.48
為替レート (円/GBP) ケンテック	151.17	160.00	※2 8.83

※1 カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

※2 為替レートの対前期比のマイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しています。

業績予想のポイント

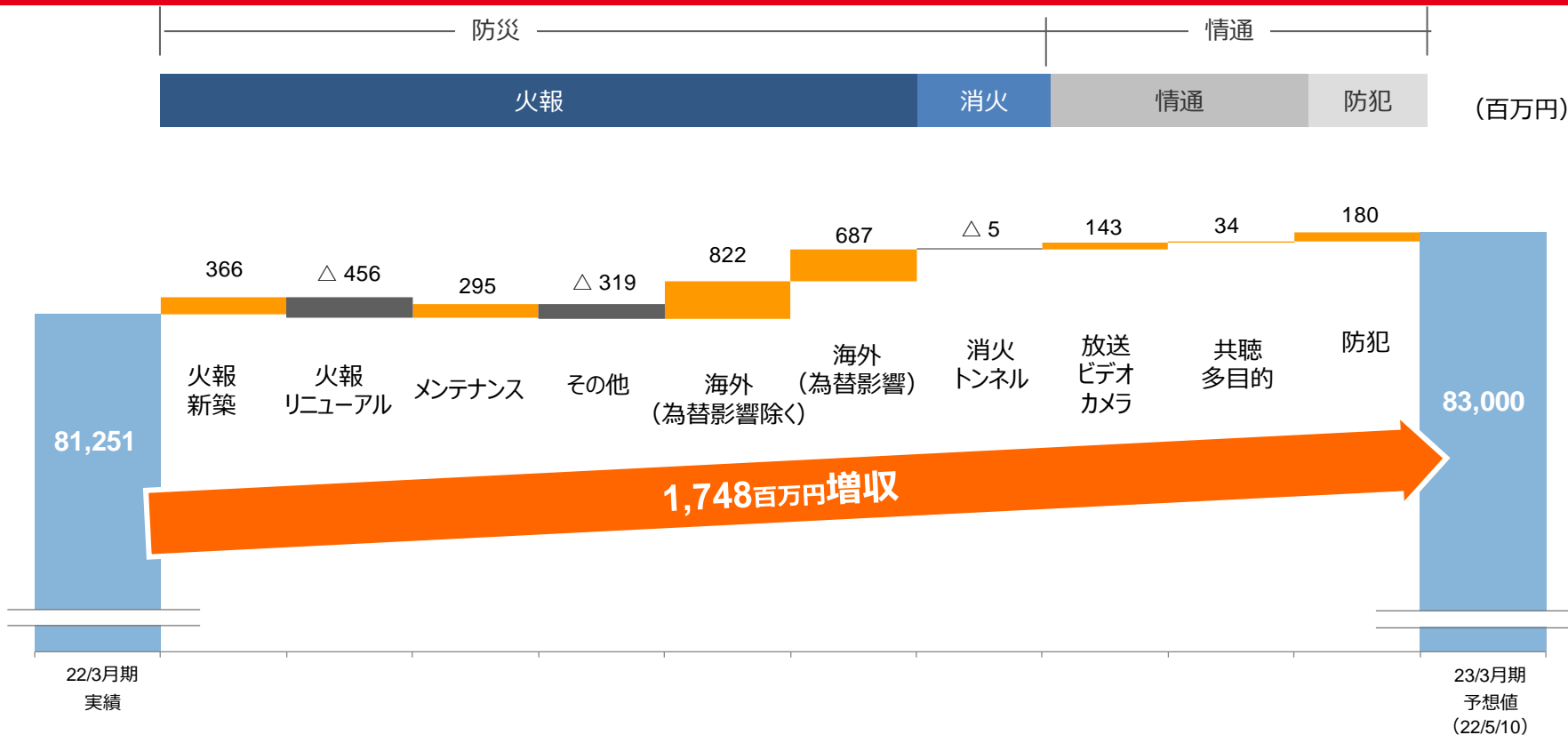
売上高

- 部品の調達難による生産遅延等先行きに不透明感があるものの、需要環境は前年に引き続き堅調に推移することを想定しており、対前期比で17.4億円増（2.2%増）の予想。
- 国内事業は、メンテナンス事業の伸長により増収となる見通し。
- 海外事業は、システム販売の拡大により増収となる見通し。
- 為替影響額は6.8億円。

営業利益

- 売上高の増加に加えて、売上総利益率改善施策を行うことで営業利益率7%超を目指す。
- 販管費は、将来を見据えた成長投資実施による増加を見込む。
- 結果として、営業利益は4.2億円増（7.7%増）の予想。

2023年3月期 連結売上高予想増減分析

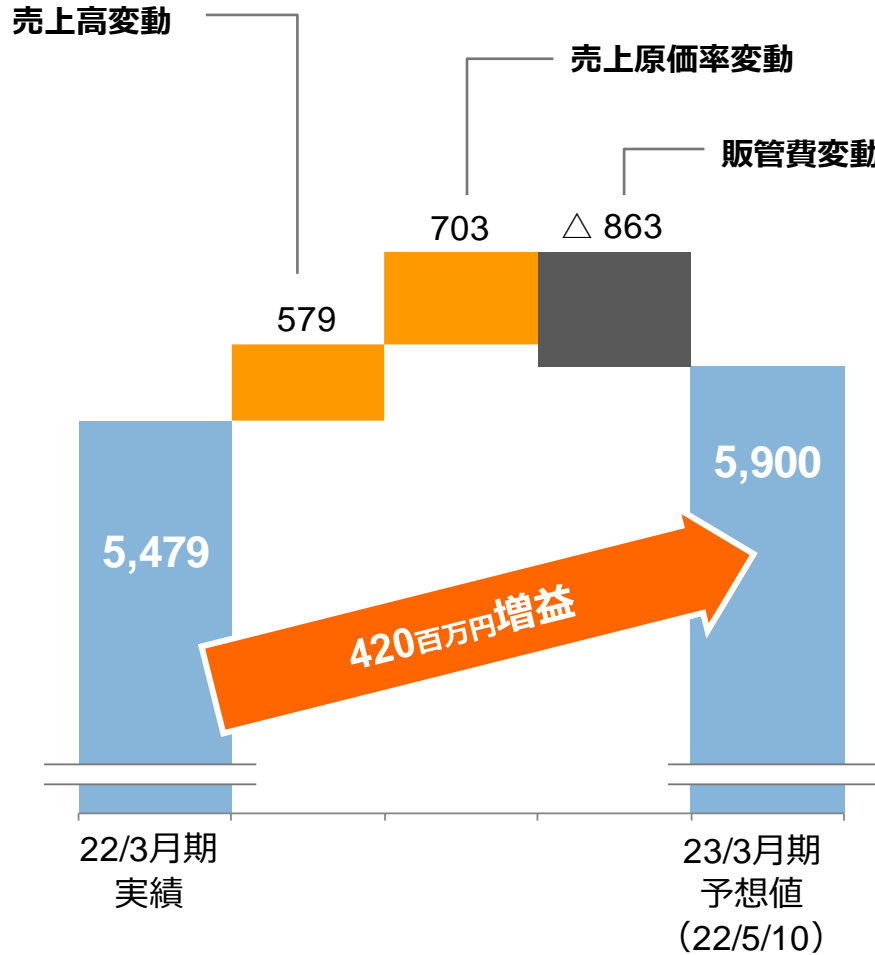


ポイント

- 海外事業は、前期実績を踏まえ、今期においても継続してシステム販売拡大施策を進める。
- 火報リニューアル事業は、前期に大型案件が集中したことにより、反動減となる見通し。

2023年3月期 連結営業利益予想増減分析

(百万円)



売上高変動

- 主にメンテナンス事業と海外事業の伸長によるもの。

売上原価率変動

- 売上原価率低減の取り組みを継続することによるもの。

販管費変動

- 研究開発を中心とした戦略投資を実施。

主要セグメント利益増減額

火報	+1.0億円
消火	+2.2億円
情報通信	+1.1億円
防犯	△0.5億円

※火報のうち、海外分は△1.5億円
 ※全社共通費影響分+0.2億円

2023年3月期 連結セグメント別・地域別売上高予想の概要

(百万円)	22/3月期		23/3月期		対前期比	
	実績	構成比	予想 (22/5/10)	構成比	増減額	増減率
売上高	81,251	100.0%	83,000	100.0%	1,748	2.2%
防災事業	68,210	83.9%	69,600	83.9%	1,389	2.0%
火災報知設備	58,404	71.9%	59,800	72.0%	1,395	2.4%
うち海外	13,489	16.6%	15,000	18.1%	1,510	11.2%
消火設備	9,805	12.0%	9,800	11.8%	△ 5	-0.1%
情報通信事業等	13,040	16.1%	13,400	16.1%	359	2.8%
情報通信設備	8,421	10.4%	8,600	10.4%	178	2.1%
防犯設備等	4,619	5.7%	4,800	5.8%	180	3.9%

(百万円)	22/3月期		23/3月期		対前期比	
	実績	構成比	予想 (22/5/10)	構成比	増減額	増減率
売上高	81,251	100.0%	83,000	100.0%	1,748	2.2%
国内	67,761	83.4%	68,000	81.9%	238	0.4%
海外	13,489	16.6%	15,000	18.1%	1,510	11.2%
					(822)	(6.1%)
北米/中南米	1,729	12.8%	1,900	12.7%	170	9.8%
					(51)	(3.0%)
アジア・パシフィック	2,784	20.6%	3,200	21.3%	415	14.9%
					(286)	(10.3%)
欧州/中東/インド	6,545	48.6%	7,100	47.3%	554	8.5%
					(268)	(4.1%)
ケンテック	2,429	18.0%	2,800	18.7%	370	15.2%
					(216)	(8.9%)

■ USD・GBP為替感応度 (1円変動による売上高への影響)

	23/3月期 予想 (22/5/10)
USD	36
GBP	61
合計	97

※ カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

2023年3月期 連結受注高予想の概要

(百万円)	22/3月期		23/3月期		対前期比	
	実績	構成比	予想 (22/5/10)	構成比	増減額	増減率
受注高	81,267	100.0%	83,400	100.0%	2,132	2.6%
防災事業	67,768	83.4%	70,000	83.9%	2,231	3.3%
火災報知設備	58,534	72.0%	59,900	71.8%	1,365	2.3%
消火設備	9,234	11.4%	10,100	12.1%	865	9.4%
情報通信事業等	13,499	16.6%	13,400	16.1%	△ 99	-0.7%
情報通信設備	8,738	10.7%	8,400	10.1%	△ 338	-3.9%
防犯設備等	4,760	5.9%	5,000	6.0%	239	5.0%
(うち海外)	13,489	16.6%	15,000	18.0%	1,510	11.2%

A thick grey horizontal bar is positioned above the title, and a thick red horizontal bar is positioned below it. The title "配当方針" is centered between these two bars.

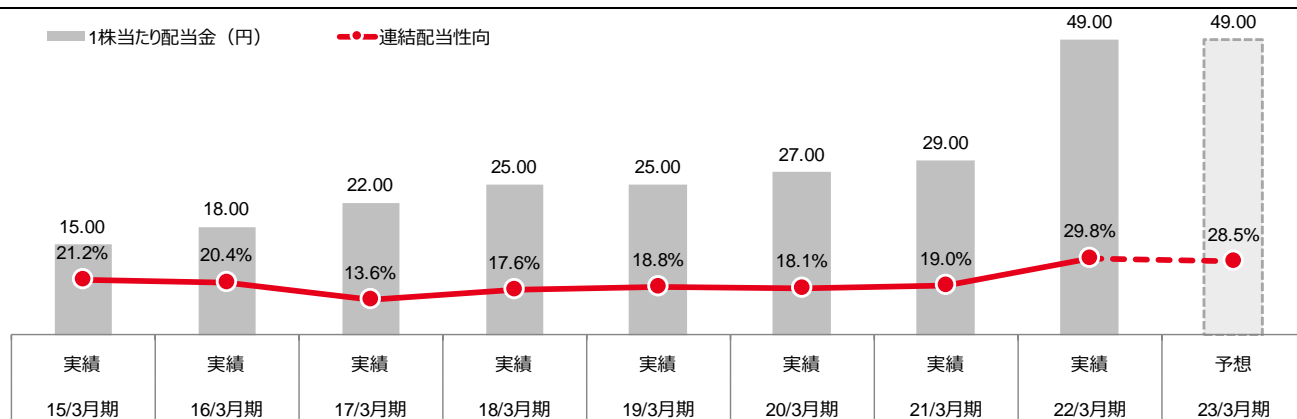
配当方針

■ 基本方針

当社グループは株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、安定した株主配当の維持を原則としたうえで財務状況や利益水準を総合的に勘案することを基本方針としております。

また、財務健全性が堅固となってきたことを受け、「資本効率」「財務健全性」「株主還元」のバランスをとる資本政策の基本方針に則って株主還元水準を見直し、増配することといたします。

	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予想
1株当たり配当金（円）	15.00	18.00	22.00	25.00	25.00	27.00	29.00	49.00	49.00
連結配当性向	21.2%	20.4%	13.6%	17.6%	18.8%	18.1%	19.0%	29.8%	28.5%
株主資本配当率（DOE）	1.8%	2.0%	2.3%	2.3%	2.0%	2.0%	2.0%	3.0%	-
自己資本当期純利益率（ROE）	8.7%	10.5%	16.8%	12.9%	10.8%	11.3%	10.5%	10.1%	-



本資料には将来予測に関する記述が含まれております。

将来予測に関する記述にはその他の情報とあわせて、当社グループの将来の成長計画が含まれております。この将来予測は当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来の出来事に関する現在の当社の見通し、期待、計画が記述されているに過ぎません。我々はこの将来予測について、新たな結果に関する情報や将来の出来事によっても、最新情報への更新や修正の義務を負うものではありません。

また、本資料中で論じられる予測の対象となる将来の出来事は、現実には起こらないか或いは予期されたことと大きく異なる可能性があり、これらの違いには多くの要素が原因となりえます。

本資料において使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標又は出願商標です。

お問い合わせ先

ホーチキ株式会社 経営企画室
石井

TEL 03 (3444) 4115

E-mail team_ir@hochiki.co.jp